

## 会 議 録

- ・ 会議の名称 富士川町介護保険運営協議会  
富士川町地域包括支援センター運営協議会  
(合同会議)
- ・ 会議日時 令和6年8月23日(金)午後7時30分から午後8時15分
- ・ 開催場所 富士川町役場 1階会議室101・102・103
- ・ 出席者 委員13名(欠席者1名)  
事務局4名  
傍聴席0名

### ・ 運営協議会内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 自己紹介(役場職員のみ)
- 4 議事
  - (1) 富士川町介護保険事業状況について
  - (2) 富士川町地域包括支援センター事業状況について
  - (3) 第9期介護保険事業計画について
- 5 その他
- 6 閉会

### ・ 発言内容

#### 議事

- (1) 富士川町介護保険事業状況について  
資料に基づき事務局から説明

#### ○概要

令和5年度介護保険特別会計の決算について

歳入合計が19億2,585万9,480円で、歳出合計18億2,725万8,914円  
介護保険料の歳入について、収納率は前年度比0.1ポイント減少で98.6%  
不納欠損額35万3,400円で延べ7人。

介護サービス事業費の決算について

歳入合計 6,730 万 7,831 円、歳出合計 5,883 万 1,214 円

介護給付費と予防給付費の実績は減少傾向にあり、特に介護予防事業の効果が見られる。

< (1) についての質疑応答 >

委員 : 資料 8 ページ第 8 期介護保険事業計画における実績値の 1 介護給付費内訳の居宅サービスの①訪問介護と③訪問介護とあるが③は訪問看護の誤りか。

事務局 : ③の訪問介護は誤り、正しくは訪問看護である。

(2) 地域包括支援センター事業状況報告について

資料に基づき事務局から説明

○概要

地域包括支援センターの運営状況について

家族やケアマネからの介護相談が増加しており、住宅改修や福祉用具レンタル、虐待権利擁護に関する相談が多い。

昨年度は 17 件の虐待通報があり、そのうち 9 件が虐待認定された。町ではフローチャートを作成し、対応を行っている。介護予防支援としていきいき筋力教室等の自主活動を促進し、多くの団体で住民主体の活動が継続されている。

高齢者移動支援について県のアドバイザー派遣事業を活用し、公共交通のデマンドバスやボランティアによる支援策を他課と共同で検討中である。

< (2) についての質疑応答 >

委員 : 県の集中支援について、資料のどこに記載があるか。

事務局 : 資料 1 8 ページの総合事業の充実・支援についての補足事項として、口頭説明のみである。

(3) 第 9 期介護保険事業計画

資料に基づき事務局から説明

## ○概要

富士川町では「いつまでも健康に暮らせるまち作り」を基本目標として、心身の健康維持向上を図るための施策を推進している。第9期介護保険事業計画では介護予防や重症化予防に向けた事業、高齢者が生きがいを持って暮らせるよう、社会参加支援や生活支援サービスの充実を目標として計画されている。

地域包括ケアシステムの推進により、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを目指していく。

< (3) についての質疑応答はなし >

## その他

芦澤委員より、9月21日(土)に司法書士会関東ブロックが主催する市民公開講座で、遺言書の作成をテーマにした講座の開催のアナウンスがあった。

講座の前半では、遺言書に関連するドキュメンタリー映画の上映が行われ、その後ディスカッションも予定されている。介護や福祉に関わる多くの方々が参加し、情報共有と意見交換を促進する場となることが期待される。

## 総括

施設や病院での介護の担い手不足が懸念される昨今において、今後若い人たちに興味を持ってもらうための取り組みが必要である。来期以降においてはこれらの問題についても話し合いが必要になってくると思われる。

富士川町では幸いなことに活発な意見交換や活動が行われており、今後も協力してより良い活動を目指していきたい。

以上

令和6年8月30日